

来たれ！新農山村人！ まちづくり協議会が取り組む「百姓やってみ隊」

～ みんな、集って楽しく“元気づくり”！ 大勢の皆さんの参加をお待ちしています ～

村上市山北地区では、交流・定住の促進及び配偶者対策を目的として、平成13年から「週末百姓やってみ隊」と銘打ち、全国各地から参加いただいた仲間と共に農山村が営々と守り続けて来た「生きる力の技」や「伝統農法」体験を通じて交流を深めてきました。

しかし、この間も容赦ない少子高齢化の波は押し寄せ、買い物にも困るほど高齢化した集落が増えてきました。

そこで、「定住の里づくり」を基本目標とする山北地区まちづくり協議会が村上市からの委託を受け、今期から農業を中心とした活動とおして、私たちと共に「産業興し」、「奇跡創り」に挑戦していただける方を募集し、また、可能な限り長く力添えをいただける「仲間」が欲しいとの願いを込め、「週末」を取り除いた「百姓やってみ隊」に改め「交流・定住促進事業」を再出発することとしました。

事業内容

1 活動期間

4月～翌年3月まで

2 活動内容

① 農業実習

・百姓隊専用の畑地で各種野菜や穀物の栽培実習

② さんぽく暮らしの実習

・採取した収穫物を活かし、地域で暮らすための加工実習を行い、その技を習得していただきます。

③ 産業興し実習

・収穫作物の販売実習

皆さんが栽培した作物を地区内外で販売実習をします。

・収穫、加工体験イベントの開催

活動の様子



隊員8名と地域内外の応援隊員約30名で農作物の栽培や「さんぽく軽トラ市」へ出店を行っています。

地域の皆さんも協力しています

地元の皆さんが地域外から「山北を元気にしよう」という活動を応援して、平日や活動日に畑や焼畑の山を管理してくださっています。ご協力いただきありがとうございます。



専用畑の管理にご協力いただいている皆さんです

通信の冒頭「よその」「わかもの」「ばかもの」の言葉にはもう一つ深い意味があると聞いたことがあります。それは、「3者は失敗を恐れない」ということです。

私は山北で生まれ「よその」にはなれませんが、「ばかもの」として失敗を恐れずに地域づくりに携わっていったらいいなと思います。何ができるか、そのヒントとして「楽しい（笑い）の狼煙を上げ続けたら人は必ずくる」という言葉をくださった人がいました。これからも「ばかもの」として「山北の笑い声」を発信し続けていきたいと思っています。

④

編集後記

さんぽくまちづくり通信

第13号

発行 山北地区まちづくり協議会

発行日 平成27年(2015年)9月15日

事務局 村上市 山北支所 地域振興課 自治振興室 (住所) 〒959-3993 新潟県村上市府屋232
(TEL)0254-77-3111 (FAX)0254-77-2217 (E-mail)s.shinko-chiiki@city.murakami.lg.jp

皆さん育ててくれてありがとうございます 私たち、20歳になりました！



8月15日(土)、村上市成人式が市民ふれあいセンターで行われました。(平成7年4月2日から平成8年4月1日までに生まれ)山北地区で育った皆さんの20歳の門出です！

「よその」「わかもの」「ばかもの」——。地域を元気にするためにはこの力が必要だと言われています。「よその」は地元の気づかない視点で地域の魅力を発見し、外へも発信してくれます。「わかもの」は若さというエネルギーでいつの時代も地域に大きな推進力と活気を与えます。そこに「ばかもの」と言われるほど、常識にとらわれないアイデアや馬鹿になって真剣に打ち込んでくれる

人がいるからこそ、ほかの人も真剣になれる——そして地域が元気になっていくという考えです。

山北地区でも子どもたちや地域外の人が地域を元気にしようとして取り組んでいる活動がたくさんあります。

今回は「わかもの」や「よその」と「地域の皆さん」で協働して取り組む活動をご紹介します。

子どもたちが映画で伝えたい山北の魅力とは！？

～みんな名監督！さんぽく子ども映画塾プロジェクト～

協力：新潟市民団体にいがた映画塾・山北地区まちづくり協議会



さんぽく南小学校5年生が総合学習の一環として、地域の魅力を再発見しようと企画・脚本・撮影を児童が分担しての映画づくりに取り組んだ様子をお伝えします。

撮影体験①

5月14日（木）、国際メディア専門学校で撮影に使う機材の使い方を専門学生や講師から学び、クレーンなどを実際に使った撮影体験を行いました。

撮影体験②

6月9日（火）、チーム分けをし、実際にシナリオから1シーン数カットの撮影を行いました。初めは緊張していた演技も、シナリオをどんどん膨らませ楽しみながら演技や撮影を行っていました。



子どもたちが初演技に挑戦！



機材の使い方を習いながら初撮影体験！

企画発表会

7月2日（木）、子どもたちが山北を舞台として考えた11の企画を発表し、どの企画が良いか地域や保護者の皆さんが投票して1つの企画を決定しました。

どの企画も素晴らしかったため、それぞれの企画の良さを取り入れながら脚本づくりをすることとなりました。



子どもたちが企画をプレゼン！



参加者全員による投票で企画決定！

夏の映画ロケ

8月1日（土）、2日（日）、「山北の美しいもの・やさしい人・引き継がれている伝統を伝える」をテーマに行われた撮影。

子どもたちが自ら出演や撮影を行い、保護者や地域の皆さんが送迎やエキストラ出演するなど、協力し合って朝から日が暮れるまで撮影しました。納得がいくまで何度も撮り直すなど楽しみながらも真剣に取り組んでいました。



地域の皆さんも演技に初挑戦！



保護者も役づくりと長いセリフで奮闘中！



5年生全員が出演場面はチームワーク抜群！



5年生の演技指導に地域の人も笑顔で応えます！

インタビュー

Q. 映画づくりに参加してみていかがでしたか？



大変だったのは、みんなでいいものを作ろうと何度も撮り直しをしたことです。セリフもたくさん練習して、本番では失敗もしてしまったけどとても楽しかったです。映画ができたらくさんの人に観てもらいたいです。

さんぽく南学校 5年生
齋藤 由佳 さん

子どもたちが山北の魅力をたくさん知っていることに驚きました。映画づくりを通してチームワークや時間の使い方、役割分担など、子どもたちが日々成長しているのを感じました。この貴重な体験が子どもたちの良い思い出となり、地域の方が魅力を再確認できる機会になるといいですね。

参加保護者
平 正人 さん



映画内容

■タイトル

「Let's Go 山北探検隊（仮）」

■内容

特別授業で昔話を聞く5年生。「山北なんてダサい、消えてしまえばいい」という児童の言葉で現れた不動様が本当に山北を消し始めます。

山北を守る手段は「山北で消えてほしくないものを集めること」。

子どもたちが山北で大切に思うものは・・・

果たして山北を守ることができるのか・・・

上映予定

■11月8日（日）さんぽく祭 12:30～

本編約15分（ドキュメンタリーも上映予定）

会場：山北総合体育館

■11月15日（日）

にいがたインディーズフェスティバル

会場：新潟万代ジティー シネ・ウインド

■その他 地域イベント内



「新潟県阿賀町」へ先進地視察研修に行ってきました！

■新潟県地域振興戦略事業

「たべて・ひろげてプロジェクト」についてお聞きました

阿賀野町では新潟市近郊の野菜ソムリエ等12名をモニターに委嘱して、モニターを活用した農産物のPRを行っています。地元食材の糸かぼちゃ、自然薯などを使用した料理教室や講演会、情報発信をして農産物の生産および販路拡大につなげています。

■「阿賀町観光ガイドコース」をご案内いただきました

古のロマンを感じさせる古道「会津街道魅力発信事業」に取り組み、町の観光ガイドに5コースを開拓して、それぞれに「コースリーダー」を置いています。当地区出羽海道や小俣宿の取り組みと通じるものがあり、実際にガイドをしていただきました。



観光ガイドコースをご案内いただいている様子です